

令和2年度

事業計画及び予算書等

公益財団法人 倉敷考古館

## 令和2年度事業計画書

### 1 遺物の蒐集及び展観 (定款 第四条の1)

- ・常設展示を行い、収蔵する考古資料を常時展観できるようにする。
- ・小、中、高校生に学外授業として活用してもらえるように展示、案内を充実させる。
- ・企画展「二万大塚古墳の世界」を開催する。4月24(金)～8月2日(日)74日間開催予定。  
(連携協定を締結している岡山大学、倉敷市と行う)
- ・特別展「棟方志功 古代に出会う(仮)」を開催する。9月19(土)～11月23日(月)51日間開催予定。
- ・外部機関に写真や資料の貸出を行う。

### 2 遺物の保管並びに保管の受託 (定款 第四条の2)

- ・連携協定を結んでいる大学、倉敷市と連携で考古資料並びに文献資料のデータベース化を行う。
- ・金属製品などの科学的保管に取り組む。
- ・別館資料室の保管体制を確立する。(本館バックヤードと別倉庫の調整)

### 3 遺跡・遺物の調査及び研究 (定款 第四条の3)

- ・考古資料室を整備して大学、公設機関の調査・研究への協力体制を整える。
- ・学術連携協定を締結した岡山大学と協力して保有する資料の調査研究を推進する。

### 4 考古学に関する印刷物の刊行 (定款 第四条の4)

- ・展覧会のリーフレットなどを刊行する。

### 5 考古学に関する集会、講演会 (定款 第四条の5)

- ・展覧会に関連した講演会を開催する  
記念講演会1「二万大塚古墳の発掘調査」新納泉氏7月12日(日)倉敷公民館 第2会議室  
記念講演会2「継体期の変革と二万大塚古墳」清家章氏6月14日(日)倉敷公民館 第2会議室
- ・大原美術館主催「チルドレンズアートミュージアム」に協力参加しワークショップを開催する。
- ・一般向きにワークショップを開催する。
- ・考古館を見学に来た児童生徒に対して学芸員によるミニ集会を開催する。

### 6 その他目的を達成するために必要な事業 (定款 第四条の6)

- ・県内外大学との連携関係を強化して教育・人材育成に協力する。
- ・大学における博物館学芸員資格取得のための実習生を受け入れ博物館実習を行う。

## 予 算 書

2020(令和2)年4月1日から2021(令和3)年3月31日まで

科 目	2年度予算案	31年度予算案	差 額	備 考
I 経常増益の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
入館料	1,650,000	1,700,000	△ 50,000	
刊行物等収入	150,000	150,000	0	
手数料収入	200,000	150,000	50,000	
寄付金収入			0	
受取寄付金	4,900,000	9,500,000	△ 4,600,000	
補助金収入			0	
受取補助金	50,000	0	50,000	
雑収益			0	
受取利息	0	0	0	
資料貸与料	4,850,000	5,000,000	△ 150,000	
雑収入	0	0	0	
経常収益計	11,800,000	16,500,000	△ 4,700,000	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	5,840,000	7,712,000	△ 1,872,000	
福利厚生費	1,240,000	1,088,000	152,000	
旅費交通費	8,000	24,000	△ 16,000	
通信運搬費	120,000	120,000	0	
什器備品費	0	60,000	△ 60,000	
修繕費	0	0	0	
賃借料	0	2,080,000	△ 2,080,000	
警備費	400,000	400,000	0	
印刷製本費	400,000	400,000	0	
諸謝金	0	10,000	△ 10,000	
調査整理費	0	0	0	
リース料	696,000	696,000	0	
減価償却費	48,000	48,000	0	
雑費	224,000	240,000	△ 16,000	
クラスター事業費	240,000	70,000	170,000	
管理費				
給料手当	1,460,000	1,928,000	△ 468,000	
福利厚生費	310,000	272,000	38,000	
旅費交通費	2,000	6,000	△ 4,000	
通信運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	200,000	160,000	40,000	
光熱水料費	300,000	320,000	△ 20,000	
賃借料	0	520,000	△ 520,000	
リース料	174,000	174,000	0	
保険料	70,000	90,000	△ 20,000	
図書新聞代	0	40,000	△ 40,000	
雑費	56,000	60,000	△ 4,000	
経常費用計	11,818,000	16,548,000	△ 4,730,000	
当期経常増減額	△ 18,000	△ 48,000	30,000	
II 経常外増減の部				
1. 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
2. 経常外費用				
過年度減価償却費	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期増減額	△ 18,000	△ 48,000	30,000	
一般正味財産期首残高	18,670,473	20,633,889	△ 1,963,416	
一般正味財産期末残高	18,652,473	18,670,473	△ 18,000	



## 資金調達及び設備投資の見込みについて

- (1) 資金調達の見込みについて  
 当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途

- (2) 設備投資の見込みについて  
 当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途